

二月

三日 校内スキー大会

四日 節分 十時半 餅搗き

七日 旧大晦日

八日 旧元旦

一日 議会始る

十六日 卒業試験発表

十七日 十日市

二十三日 卒業試験

二十七日 試験終了

二月一日（木） 曇雪 寒

起床七時半 雪がサラサラと降ってゐた 降ったり止んだりの天気です。午後には寒さもゆるんで来た。登校朝礼にて稲村先生より静岡大火見舞金五銭紀元二千六百年記念事業費五銭持参の事。一校時 商算 二校時 商英 エグザンプル29 当たる。三校時 英語、四校時 英作 五校時 体操 講堂にてラジオ体操 一、二、建国体操 上、中、下を行ふ 六校時、支那語、近藤先生より卒業間際をもっと緊張してやるようにと注意あり、放課後 五年生(特)剣道を行ふ。

五時半、歸家す、お父さんまだ弱って寝て居られる

夕食後、六時半公会堂へ空の勇士発表会に行く 読売新聞社主催、及読売ニュースを行ふ

八時半終了 九時歸家す、友子を見る 十一時十五分前 山口様御出になる

十二時近く 床に就く

欄外の記事

斥候に出でゆかむとして時の間あり廿七年の生命(いのち)想へり(森上等兵)

東京・大阪間電話開通(明治32)山縣有朋没(大正11)中村鴈治朗没(昭和10)

二月二日（金） 雪晴 暖

起床七時半、登校 朝礼にて友田先生より明日施行する校内スキー大会に就いて集合場所、時間、その他服装注意あり、九時迄新スキー場に集合の事、一校時 二校時 法規 法律常識に就いて 三校時 工業大意 四校時 教練 勅諭読書 五、会計 日がポカポカと照って非常に眠気をもよほす 六 歴史 三時半 歸家す 天寧寺町の英一來てゐた炭が着いたから取りに来るやうにと知らせに来た 英一 日曜日に田島に行く由、四時半 歸る お父さん紫湯に行かれる 夕食後、七時二十分前 天寧寺町に早速炭取りに行く 九時半迄話して歸る

途中 道路雪がザラメで橇が引けず困難して十時半過 漸く 家に着く お父さん 紫湯に行かれ非常に元気になって歸ってこられた。非常に疲れた 早く寝やう もう十一時半は過ぎた。  
就寝、十二時近き頃

#### 欄外の記事

檜林にあふぐ寒日や背を征(や)りてかりそめならず恋ひてをりつつ(富倉良子)  
並木五瓶没(文化5) 関東大地震(嘉永6) 林内閣成立(昭和12)

二月 三日 (土) 雪 寒

起床 七時十分 朝食後 七時五十分 東山新スキー場へ家を出る途中 長田君、手代木、横山、岸 大宮の諸君と一緒に行く 雪路なので歩行困難汗だく流れるスキー場に登る九時十分頃到着。九時半 スキー場にて朝礼を行ふ。折しも雪降り風寒くブルブル震へた其後スキーはいてある者コース作る十時半頃より競技開始 距り、回転の二種目だけ行ふ 十二時近く終り閉会式後解散、山下るに非常な坂ですべり転ぶ。

二瓶、目黒、伊藤の三君と共に出会常藤エーワンで支那そば食べる。二時半家に着く、ヤキメシ食べる 四時半頃迄昼寝す。五時半あやめ湯に行く。七時近く帰る。お父さん紫湯行かれる夕食、豚味噌汁あり

九時 床に就く

今日は何だか眠くてしかたがない。

#### 欄外の記事

書籍は人生の幸福の大部を占む(フレデリック大王)  
日支間に海底電線(明治4) 福沢諭吉没(明治34) 皇軍芝罘占拠(昭和13)

二月 四日 (日) 雪 寒

朝九時半 起床 日曜日なのでゆっくりと起きる。

お母さん達、今日は餅搗なので用意で忙しい十時半餅搗を初めました。僕とお母さんと正雄で五升餅をついた。十一時半過ぎ餅を食べる遠慮して十三でストップ。午後二時半図書館に経済論文を探しに行くも適切なるもの見当らず四時帰家す。

夕食前豆まきを行ふ自分一人で行ふ。

夜、お父さんの処に鈴木温炎医がこられる本当にお父さんリウマチに困り全身痛み今日で一週間以上も寝て居られる「最早や旧正月は目前に迫った。」

十時過ぎ 床に 就く

「豆で病神と貧乏神を追出さう」  
「腹八分」「もう一つ言ふ所で止めよ」

#### 欄外の記事

雪晴れてわが冬帽の蒼さかな(蛇笏)  
平清盛没(養和元) 赤穂義士切腹(元禄16) 佐賀の乱(明治7)

二月 五日 (月) 曇 寒

#### 特別記事

意志薄弱 忍耐力

昨夜来より、降り続いた雪は五寸余も積りました。起床七時半 登校 途中 橋本、山浦、横山の三君と共に行く。丁度玄関の処で予鈴鳴る。一校時 英語 二校時 工業簿記 三校時 支那語 四校時 工業大意 五六校時 商品実験 生糸検査 朝礼に於て、一昨日のスキー大会、優勝者並びに六等迄発表、放課後 直に佐野君と帰る。三時四十分家につく。店番す、夕食後 鈴木医こられる。今日は大分よくなり起きられる様になりました。八時お母さん、忠雄、善四郎、友子 あやめ湯に行く、その後、融通寺町の次郎さんおいでになる。国防色の布切、買っていかれる。  
九時半 あやめ湯に行く。十時半帰る。  
十一時近く山口様来られる。  
十一時過ぎ、床に就く

#### 欄外の記事

つくづくと征ける心をおもひやるこの夜をわれの眠らざるべし(久保田初瀬)  
カーライル没(1881) 鎌田栄吉没(昭和9)

二月六日 (火) 曇 晴 寒

起床 七時半 登校 朝礼を行なはず学校前の道路集合直ちに公会堂の合同慰(英)霊祭参拝に行く。九時半帰校 第一校時より四十分授業をなす、一校時経済、二校時教練、花角教官写景図を描き提出す、三校時、商品 四校時 商算 五校時 國語 六校時 武道 やる前に教室にて写真を撮る小林先生、漢文 その後講堂で小太刀一本目二本目を習ふ。放課後 剣道特別生の写真貳枚を買ふ。三時半 帰る。途中田端に寄り、写真の焼廻しを頼む。  
午後五時 取立てに歩く 大井町と祝町 二軒 夕食後 鈴木医御出になる。

八時山口様御出になる。再び祝町に行くも不在。今日は店に寝る。

就寝 十二寺近く

#### 欄外の記事

子供が泣くのは親父が泣くよりまし(ドイツ俚諺)

俳優アーヴィング生(1832)正金銀行設立(明治13)日露国交断絶(明治37)

二月 七日 (水) 吹雪 寒

今日は大晦日であるサラサラと雪は降り出したが、午後には吹雪となった。起床七時半登校朝礼に於て稲村先生より来学年の本の事に就いて、又 明日は十時始業の事。金子先生より元旦参りの注意あり。一校時 修身 西洋学を研究するより、日本の古典を研究せよ。軟弱外交、共産主義 第二校時 漢文 第三校時 法規 近藤先生 第四、五、六校時 実践 荷為替取組を行ふ。

四時近く 帰家す。五時より取立に歩くも皆取れず。

今夜は年とりである ザクザク煮物を食べる。山口様 九時半にこられる

十一時 元日そばを食べて十二時近く床に就く 明日は元旦詣りに行かう

今朝 三菱化工機より手紙到着す。

#### 欄外の記事

はつはつに班雪ふりたる葦生には内湖なみひかると見ゆ(佐後淳一郎)

一の谷合戦(寿永3)奥村五百子没(明治40)大正天皇御大葬(昭和2)

二月 八日 (木) 雪 寒

#### 特別記事

節制を守り以って身を國に捧ぐるに恥じない身体を養成する事を誓ふ

旧元旦である。朝五時におきて手打ちそばを持って天寧寺町お祖母さんの処へ行く途中え朝詣りの人で一ぱいです。六時着く天寧寺町の者は皆起きてゐた。敬山附近に火災があつたので起こされたそうです。お祖母さん昨夜から吹雪で寒さが厳しいので少し弱っておられた。六時半 朝食を御馳走になり 九時過ぎ家に帰る。お祖母さんより¥・50戴く九時半登校 途中伊藤君と諏訪神社に元朝詣りをなす。朝礼校長先生より表彰状を本校で戴く 第一校時 商算 第二校時 商英 第三校時 英語 第四校時 英作 第五校時 支那語 教室掃除 午後三時半 帰家す。

元日故 各商店は休業 石堂屋の次郎さん御出になる 八時半 石堂屋のお叔父さん御出になる。

九時 床に就く

#### 欄外の記事

雪もよふ窓の昏みにうきたちて魚藍観音の白磁のひかり(水町京子)  
ラスキン生(1819)新聞紙の発行を許す(明治2)

二月 九日 (金) 晴 寒

朝起床七時十五分 登校 途中鈴木温炎医に寄るも不在 登校 第一校時 国語 二校時 法規 無過失賠償法に就いて 三校時 工大 第四校時 歴史 第五校時 教練 要図 月曜日迄持参 六校時 講堂にて全員紀元節の歌練習後 注意会を行ふ 三時半 三年生以下帰すも四年生が便所に落書した為 犯人捜査するも出でず後、高山先生来り物分れとなりて散会す。四時五十分帰宅す。

運送店に荷物受取りに行く 忠雄に荷物をひかせる夕食 餅十五、食べる。丁度 鈴木医お出になる

夜八時より 荷物の符チョウを附ける

丁度十一時に終わる

五時 山口様 御年始にお出になる

十二時 床に就く

お父さん 夜になると弱られる

#### 欄外の記事

心中の知恵は掌中の金銭に優れり(シンゲールズ)

原敬生(安政3)井上準之助凶手に葬る(昭和7)小笠原幹伯没(昭和10)

二月 十日 (土) 曇・晴 寒

起床七時半、登校 朝礼にて 教練査閲実包射撃 優秀者に第二師団長より賞状を戴く、小生も入る。第一校時 英作 試験 第二校時 商業作文「紀元二千六百年の佳日を迎ふ」の題目にて来週土曜日迄提出の事、第三校時 珠算 読上算試験 第四校時 商算 午後二時半 帰路に就く 店番をなす 四時 岩澤理髪店に行く 二分刈 五時半 帰る

夕食 トロロ飯、食べる。食後、大善屋のお叔母さん御年始にお出になられた。忠雄、正雄、善四郎を連れて あやめ湯に行く。八時半過ぎ帰る。鈴木温炎医お出になって居る。叔母さんかえる。十時近く山口様お出になる。

十一時近く 床に就く

欄外の記事

青ぞらのいつみえそめし梅見かな(万太郎)

日露宣戦大詔渙発(明治37)皇軍海南島奇襲上陸(昭和14)

紀元節の詔書の新聞記事の切り抜きあり

詔書

内閣告諭

二月十一日 (日) 紀元節 晴・曇 寒

特別記事

朝日出る畝傍の山の蘆原 古神武の御代をぞ偲ぶ

天孫降臨の地 高千穂の峯 空に輝く 錦雲

起床七時半、今日は紀元節である。

式次 紀元二千六百年にて各地にて各種のもよほしあり。

一、挙式の辞、

一、御開扉(ヒ) 君ヶ代奉唱

一、御真影拝賀

一、勅語奉読 憲法発布詔書奉読

一、御閉扉(ヒ) 紀元節の歌奉唱

一、学校長訓話(神武天皇の御偉業 聖戦 覚悟)

一、紀元二千六百年頌歌奉唱

一、閉式の辞

式終つて後、市内ラッパ行進諏方神社参拝学校へ帰る

十時半終了 十一時 家に帰る、午後、鈴木医お出になる

九時半 山口様御出になる 十時半 床に就く

欄外の記事

長城の雪は霽れたり紀元節(西尾北鳴)

支那大軍を着々大黄河に壓迫・憲法発布五十年祝賀式典挙行(昭和13)

二月 十二日 (月) 曇 寒

起床七時半 登校 朝礼に於て校長先生 紀元節の日に天皇陛下より下し賜はりたる詔勅及 内閣告諭の奉読あり。第一校時 英語 二校時 工業大意 自習 風間先生監督 三、四校時 実験 紫外線を行ふ 五校時 工業簿記 六校時 支那語。

放課後、実践室 掃除 四時 帰宅す。

夕食 イワシで食べる。

鈴木医御出になる。

十一時半、山口様 御出になる。

大善屋の清助、肺門淋巴線で寝てゐる由。

十二時すぎ床に就く。

今日、会社に出す手紙漸く書き上げる

出勤日は十四日の予定日とす。

風間先生に文案を作って戴く(よく礼を言って置く事)

#### 欄外の記事

長者の美食は貧者の涙(ギリシア俚諺)

カント没(1804) ダーキン生(1809)リンカーン生(同)

二月 十三日 (火) 曇 暖 0.5°

起床 七時半 登校 朝礼に於て校長先生より金子善夫先生の御手紙読み聞かせて下さる。

第一校時 経済 二校時 教練 三校時 商品 四校時 商算 昼休み時間に射撃部 写真を撮る。五校時 國語 六校時 武道 小太刀 三本目をやる

放課後 道場にのこる。

五時 家に帰る、家の中を掃除して、夕食 さしみの御馳走あり。七時 図書館に行く。須田、高橋、長瀬、山口(富)四君居る。

本三冊借りて九時近くに帰る。

論文を書き十二時近く迄漸く五枚書く、

十二時過 床に就く

昼頃より雨降出し夜になるも止まず。

#### 欄外の記事

たまきはる命かがやき出で立ち勇士等ここに声無く戻る(堀江堅)

平民に氏を称せしむ(明治8)大音楽家ワグナー没(1883)

二月 十四日 (水) 曇雨 寒

起床 七時半、登校 朝礼に於て稲お先生より今日より四年以下臨時試験があるのでその注意あり。

第一校時 漢文 第二校時 法規 第三校時 修身 大いなる希望を持って、サラリーマンこん情、将来の見通しを附けて而かる後目的に邁進せよと、我等の前にはすばらしい運命があるこ

の努力を打破に注げ

四、五、六校時 実践 実践日附十二月三十日 — 一月十日午後 放課後、会議室で支那語会話試験を行ふ、四時過ぎ帰宅外は風強く非常に寒さは緩みました。論文を七枚書く。夕食、餅、今日は七草である。鈴木医御出になる。九時半、山口様御出なる自分はあやめ湯に行く 十時半 帰る 十二時近く 寝やうと思ふ。(now 十一時過ぎ)

欄外の記事

春淡き空夕ぐれて清らなりかすかに起る小竹のなる音(林圭子)

陸軍将校の佩刀を陣太刀式のものに改む(昭和9) 田園詩人横瀬夜雨没(同)

二月 十五日 (木) 曇 雪 暖

起床七時半 登校 朝礼に於て小林教官、服装に就いて注意あり。稲お先生、試験態度に就いて注意あり。第一校時 支那語、渡辺兼雄事件起る、第二校時 商英 三校時 英作 自習 四校時 商算 五校時 英語(三校時と取違える)六校時 体操 青年体操 三時半 帰宅。五時半、第一小学校に同友会へ行く、準備をなし始める時既に七時に及ぶ。人数二十人、会費七十銭、夕食 丸富の三十五銭の飯、菓子、八時近く児玉先生お帰りになる。もう検査迄にはこんな会は出来ぬであろう  
九時二十分終る解散す。皆んなと一緒に帰る。十時家に着く、十二時過ぎに寝る。

欄外の記事

車に乗る人乗せる人其の又わらじを作る人(古諺)

兼好寂(正平5) ガリレオ生(1564)

二月 十六日 (金) 曇 寒

昨夜来よりの雪 今朝見ると二寸程積もりてゐる。起床七時四十分、登校 朝礼お話は注意なし。第一校時 工業大意 第二校時 法規 校長先生 第三校時 教練試験 問題 一、忠節の項 漢書せよ。二、軍紀及 服従と独断の説明、三、東亜新秩序建設の意 四、幹部候補生 手続 監督 花角教官 四校時、会計、五校時 歴史 自習 六校時 國語 放課後、剣友会入会の話 四時近く家に帰る。堀内君より国語参考書借りる。月曜日返還の約束。卒業試験 発表

論文及作文 書く。明日は十日市である。

九時半、山口様 御出になる。

昨日 三菱より 十五日 出勤せられたし旨の手紙到着す。

十二時 近く 寝やうと思ふ。



#### 欄外の記事

町中の火の見やぐらに人ひとり火を見て立てり冬の夜の月(落合直文)  
西行法師寂(建久元)日蓮上人生(貞応元) ロシヤ大革命勃発(1917)

二月 十七日 (土) 曇 寒

#### 特別記事

これが最後の十日市と思へばどれも皆なつかしく長く見にけり

今日は十日市である。起床七時半、おこわを食べ登校、朝礼に於て 金子(老)先生より十日市及び掃除に就いて注意あり。第一校時 英作 訳の練習、第二校時 商作、第三校時 珠算 見取 乗算 除算の試験あり、第四校時 商算 放課後 教室掃除 二時 帰家す 新作様 御出になる。今年の十日市は思ったより店を多く出、人も相当出たのである、午後四時頃 一回と、夜八時半と二回出る。  
午前中は晴れて非常に天候が良かったが、午後になると雪空になって、曇って来たが、一日降らず風もなく非常に良い十日市であったが、夜九時より突然雪がしんしんと降って参り後を悪くしました。

今日はあまり食べすぎた様だ明日より絶対に菓子の間食をしない事。十一時近く寝る

#### 欄外の記事

脚冷えしままにて一日勤めたりのびたる陽あし雲屋根の上に(阿部静枝)  
教育家ペスタロツイ没(1827) 詩人ハイネ没(1856) 威海衛占領(明治28)

二月 十八日 (日) 曇 寒

起床 八時半 今日昨日の疲れ及び日曜日なので遅くなってしまひました。午前中より國語をやったけれども一向身が入らず食べる気が起きたり、眠気がさしたりやはり日曜は駄目である。

一日中 殆ど炬燵の中で勉強した為であらう。朝は天気がよく晴れてみたが九時頃はもう吹雪とかわり吹いたり晴れたりしてみたが夕方になって漸く風も止み星は満天に輝き七時半にあやめ湯に行く、八時半帰る。

鈴木医二時半頃御出になる。

山口様 十時半御出になる。

早く寝やうもう十一時半だ。

#### 欄外の記事

浴室の窓よりみれば湯気かかる紅梅の花に散らす雪かも(憲吉)  
宗教改革者ルーテル没(1546)画家ミケランジェロ没(1564)

二月 十九日 (月) 晴 寒

特別記事 アルバム代金 六円五十銭(支払)

朝から晴れた一日であった。授業を受けてみても頭がぼうーとしてしまった程である。  
起床七時半、登校 朝礼に全級週番(高橋)掃除について注意す。第一校時 英語、第二校時 工大 第三校時 工簿 第四校時 支那語 第五六 商品実験を行ふ。支那語の本、小森に貸す。三時四十分家に帰る。五時半まで昼寝す。それより商英を行ふ。夕食後、十時迄かかる。何だか今日は風邪気味で頭が痛い。  
お父さん ブルトーゼ買ってこられる 飲む。  
これから英語をやると思っているのである。  
今朝は飯を食べなかった。胃の具合が悪い。就寝は十二時頃になるだらう。

十時記、

欄外の記事

花咲くやいまかど思ひし日は過ぎぬわれにたやすき生にあらざりし(水上すず子)  
屋島の戦(寿永4)大塩平八郎の乱(天保8)

二月 二十日 (火) 曇 寒

特別記事

小林教官より

青年は、意気を持って、積極的に行へ、迷わずに実行して行け、引込思案はいけない、  
為さない事はいけない。以上を以て向上を図れ、

正輔！！と呼ぶ声、はっと思って目を覚ますと八時だぞと云うお母さんの声、これは寝すぎた。  
大至急で用意して登校、朝礼！ 第一校時 経済、近藤先生色々と社会に出る注意訓話あり、  
その中に人の一部分だけを見て批評(評価)する勿れ、上の人々の命令は絶対に服従せよ、先づ貯蓄せよ(中等校出は主任には絶対になれないと)、第二校時 教練、第三校時 商品 第四校時 商算 第五校時 国語 第六校時 武道 型(大小)経済、教練 商品 国語 武道は今日時間を以て五年生の授業は終わったのである。

四時 家に帰る。漢文 英作 を少しくやる。夕食 豚汁あり。山口様 御出になる。  
昨夜来の雪は今朝まで二寸程積もる。今夜は吹雪となった。十時、吹雪も止みからりとした。  
就寝十二時半、

#### 欄外の記事

心楽しければ行路の難きをおぼえず(マシソジア)  
普選最初の選挙(昭和3)独逸満州国を承認(昭和13)

二月二十一日(水) 雪曇 寒

起床 七時半 登校 朝礼——、  
第一校時、漢文、復習、第二校時 法規、近藤先生、社会に出てからの注意、第三校時  
修身、教練補充、花角先生、兵役法の改正に就いて、二十五分間自習、第四、五、六、校時、  
実践 非常に忙しい、電信為替の取組、個人商店取引終了す。放課後、直ちに帰る。  
四時、夕食迄、昼寝す。今日は「サイノカミ」である。夕食後、地藏公園にて行なはれる。  
火に当って来る。漢文、歴史、を行ふ。愈々明後日より卒業試験である。  
お父さん、紫湯に御出になる。十時半山口様御出になる。今日は割合に寒かった風強し  
就寝十時半

#### 欄外の記事

若草のはつはつ萌えし我陣地砲車ひき上ぐる兵の汗垂る(有田惣市)  
和氣清麿没(延暦18) 哲学者スピノーザ没(1677)

二月二十二日(木) 晴 寒

#### 特別記事

先づ健康 姿勢を立派に適度の運動、節制を守れ早起早寝

今日は割合に感じが厳しく朝夕は殊に激しいです。一日、天候が晴れてみて窓側に居ると頭  
がぼうと、してしまふのです。起床の時計が止まったのでわからない。八時十五分前、登校 朝  
礼——、第一校時 英作 第二校時 商算 自習 第三校時 英語自習、第四校時 商作自  
習、第五校時 支那語 第四十課行ふ、お話あり、第六校時 体操 教室にて話後 講堂にて  
体操を行ふ、放課後、教室掃除、四時帰宅す。明日より卒業試験である。今日ですべての学  
科の講義は終わりました。国語をやる、夕食、サシミの御馳走あり、お父さん、忠雄、紫湯に行  
かれる、今日は十一時迄やらう。むりをせずに、十二時近く寝る 十時記、

#### 欄外の記事

陽炎や道がつくりときりぎしへ(芽舎)  
作曲家ショパン生(1810) 薩軍熊本城を囲む(明治10)肉弾三勇士殉國(昭和7)

二月二十三日(金) 晴 暖

今日から卒業試験である。

起床七時、登校、朝礼一。

第一校時、工業大意(小林教官)(5)間違ふ 第二校時、國語(木根淵先生)解釈 四題

第三校時 会計(二瓶先生)三題(不出来)直に帰る。昼食、あまり食べ過ぎる。

午後は英作、商算、を勉強す。

夕食後、漢文をなす。

今日は旧正月十六日で藪入りの日である 各娯楽機関は満員の由。

朝から寒さが厳しかった。

就寝 十一時

#### 欄外の記事

一枚の餅のごとくに雪残る(芽舎)

蝦夷(函館)奉行を置く(享和2)

二月 二十四日 (土) 晴 暖

朝から非常なよい天気であった。

五時頃より目が覚めたりしてうつらうつらであった。起床七時、腹下る朝食を抜く八時十分前、登校、朝礼に於て稲村先生より五年生だけに試験態度に付注意あり。

第一校時、英作(駒井先生)(9)(10)意味違ふ。第二校時、漢文(風間先生)——

第三校時、商算(稲村先生)——

直に帰る。昼食二杯、食後 商品 手につかず。昼寝す三時半迄、それより一寸散歩に出る。

商品やるも身に入らず

夕食後は八時頃より寝る(頭痛の為)

明日は日曜なり、

ぼかぼかと照日で日向ぼっこす。25日 午前八時記

#### 欄外の記事

樹々の芽に天軽雷を鳴らしけり(冬草)

フルトン没(1815)作家直木三十五没(昭和9)

二月 二十五日 (日) 曇 寒

非常に厳しい寒じである。窓のガラス戸は眞白になっている。

朝六時起床 英語を七時半迄行ふ。

朝食を卵一個を飲む。午前中に商英を行ふ。朝飯が遅かったので、昼になるのも早く思われ

る

昼食後、英語、夕食前迄かかりて行ふ。

夕食は生タラの煮付、御馳走あり。千代子姉さん三時十五分前、大善屋に行く。後関本の豊ちゃん及御叔母様と会津館に映画を見に行つて来た由。夜は商品勉強す。四時頃より雨がぼつぼつ降つて来たが後大降りになつたが、夜八時過ぎには雪となりました。風も起こる。千代子姉さんは十時過ぎ帰る。山口様御出になる。「病に精神的に負けるな」、十二時前に寝やう。

#### 欄外の記事

召され征きて馬は帰らず馬納屋の裏の白梅花咲き散りぬ(小井武雄)

米国球界の名将マグロー没(1933)松井最高指揮官東京へ凱旋(昭和13)

二月 二十六日 (月) 曇 寒

起床七時半、登校 朝礼 一。

第一校時 英語 丸山先生 (1)(2)(3)(4)題

第二校時 修身 小林先生 (1)(2) 題

第三校時 商品 友田先生 (1)(2)(3)(4)題

試験終了後直に帰る。

昼食後、道路の雪割を為す。二時半迄で出来る。

それより簡易保険健康相談所に行つて診察して頂く。風邪吸入器をかけ喉に薬をつけてくれる薬代五十二銭とられる。四時帰家す。

それから勉強にとりかかる、商英 七時迄、歴史 法規を十時迄なす。

山口様 御出になる。

午後より雪はものすごく降り出す。今日は市内一斉に雪割を施行せらる。

十時半 就寝

#### 欄外の記事

無益の談話を避けよ(フランクリン)

ユーゴー生(1802)奈翁エルバ島を脱す(1815)二・二六事件勃発(昭和11)

二月 二十七日 (火) 雪 寒

起床 七時 八時 十五分前 登校 朝礼に於て稲村先生より 試験後の行事に於て 小林教官より試験後の行動に就いて注意あり。大川先生より紀元二千六百年記念事業寄付金、二月三月分十銭明日迄持参。旅行貯金の払戻しに就いて

第一校時 商英 酒井先生 (1)(2)(3)題

第二校時 歴史 大川先生 (1)(2)(3)題

第三校時 法規 近藤先生 (1)(2)題

試験終了後 西実践室にて 東組のクラス会開催、(会費五十銭)二時半 解散

一時半に剣道部、額に掲げる写真を撮る。三時半 帰宅す。田島のお叔父さんと大関様お出  
になられた由、夕食後、上野洋服店に服のなほしに頼む。

十時山口様 御出になる 十時半 床に就く。

#### 欄外の記事

曇り日のあせびは白き吐息かな(月草)

詩人ロングフェロー生(1807) 米船下田に来る(安政2) 英文豪ショー来朝(昭和8)

二月 二十八日 (水) 雪 寒

起床 七時

卒業試験が済んだので肩の重荷が落ちてほっとしたが、卒業式を考えると一抹の哀愁が感ぜ  
られます。八時登校 朝礼 九時より花角先生及田崎先生 監督の下に郵便局見学す。

途中から頭痛がして来た。十時半見学終る。家に帰る途中白木屋、陳列場を見学す。家に帰  
りて昼食後 寝る。風邪の様である。今朝 本(十三冊)譲る。

お父さん、紫湯に行かれる。

九時 山口様お出になる。

十時半 寝る

雪はしんしんと降り続く

#### 欄外の記事

少女らのむらがる芝生萌えにけり(犀星)

モンテーニュ生(1690) 陸海軍二省設置(明治5)坪内逍遙没(昭和10)

二月二十九日(木) 雪晴 寒

#### 特別記事

卒業記念に学校に寄付金

金 壹円也(支払)

本 譲り代金 金 参円五十銭(受取) 齊藤庄平君

起床 七時半、八時 登校 朝礼に出ず、頭痛の為 九時半、新城酒屋見学に行く。酒の試

飲す。十時半すぎ終る。

家に帰り 直に寝る。朝と昼食抜く。

今日、学校に学務部長来校する由、

上野洋服店より服出来て来る、

午後、八時頃 石山君来て、剣道部の送別会四日の午後行ふ由を伝えて来る。

熱三十八度五分、

午後よりずつと床に就く。

お父さんによ来堂の爺様と紫湯に行かれる。(四時半)

山口様 御出になる。

十時半、寝る

会社に照会の手紙を書く。

#### 欄外の記事

知恵は心の食物なり(ホプキンス)

近藤芳樹没(明治13)日仏通商航海条約公布(明治45)